

## 〈解答〉

- ① 1 イ  
2 イ  
3 人間が人間らしく生きるための時間  
4 才

配点 ① 1、2は各2点、3、4は各3点 10点満点

## 〈解説〉

- ①
- 1 アは「上の漢字が下の漢字を修飾」、イは「意味が似ている漢字の組み合わせ」、ウは「意味が対になる漢字の組み合わせ」、エは「下の漢字が上の漢字の対象を示す」、オは「主語と述語」の関係である。「競争」はイと同じ組み立てである。
- 2 空欄②は「人と人との関係にたつぷりとした時間を注ぎこむことが必要」↓「そういう時間を過ごせる人が少なくなってきた」という文章の流れから、空欄②の前後で内容の食い違いが起きていることがわかるので、逆接の接続語が入るとわかる。
- 3 傍線③の直後に「本人が楽しんでいるという以外には特にこれといった意味も目的もない、こうした『ムダな』時間」とあり、さらにその後「人間が人間らしく生きるための時間がもうあまり残っていない」とあるのに注目する。
- 4 本文の最後の段落に「その時間（＝人生において、はぶけないし、はぶいてはいけない時間↓人と人との関係に注ぐべき時間）を守るためには、人にのろまといわれたり、スローとバカにされたりするのを恐れないことにしよう」という結論が述べられており、これが、オの内容と一致することに注目する。ちなみに、ア「人生における『ムダな』時間を節約することによって」、イ「人類が同じ目標に向かって競争することで社会問題の多くが解決する」「時間泥棒が誰なのかといった小さな問題を追及することは無意味」、ウ「心にゆとりをもって社会を変革する努力をすることが重要」、エ「ありとあらゆる競争を世の中から排除していくことが求められている」の部分、それぞれ適当ではない。